

実技
講座

「カナレットとヴェネツィアの輝き」展関連講座

イメージからピクチャーへ カメラづくりから考える

本講座では、展覧会を鑑賞した後に、身近な材料を用いてカメラ・オブスキュラを制作します。制作を通してカナレットたちが描いた景観に思いを馳せつつ、景色をみて描き出す体験をじっくりと味わってみましょう。

8月24日(土)・25日(日)

*2日間続けてご参加ください。

時間
場所
対象
定員
材料費
観覧料

10:00~16:30
静岡県立美術館実技室、美術館周辺
中学生以上の個人
12名
1,500円程度
一般:1,500円 高校生・大学生・70歳以上:800円
中学生以下:無料
※ワークショップ中に展覧会を鑑賞しますので、別途、観覧料が必要になります。

持ち物

昼食
帽子等、熱中症対策できるもの(屋外での活動時に使用)
汚れても良い動きやすい服装・靴でお越しください。
※体調がすぐれない場合、ご参加を控えていただきますよう、お願いいたします。



写真提供:大塚 敬太 氏

講師 大塚 敬太 氏 (写真家)

1986年、静岡県浜松市生まれ。
武蔵野美術大学 造形学部映像学科 卒業、東京藝術大学 大学院映像研究科 メディア映像学科 修了。
2020年、浜松にUターン移住。現在は東京工芸大学 芸術学部 写真学科の非常勤講師を務める。

〈講師からひと言〉

美術史や写真史の本を紐解けば、カナレットをはじめとする画家たちがカメラ・オブスキュラなどの光学機器を絵画制作における補助道具として利用していた、というような記述をよく目にします。そのことを教科書的に理解することはできても「では実際どのように利用していたのか」ということを考えると、ピンと来ないというのが正直なところではないでしょうか(私もそうでした)。わたしたちがカジュアルに利用するカメラの存在を「一旦忘れて」、カメラ・オブスキュラ作りを通して写真術発明以前の視覚体験について、一緒に考えてみましょう。

◆◆◆お申込み・お問合せ先◆◆◆

申込受付期間: 7/21(日) ~ 7/27(土) 必着

抽選結果: 8/2(金)以降、メールまたはお電話にて
抽選結果を順次お知らせいたします。

下記のいずれかの方法でお申込みください。
定員を超えた場合は抽選となります。

◆FAX ◆郵送 ◆実技室ポストに投函 ◆WEBから申込む

県美HPアドレス: <https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館 学芸課 実技室担当 〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 TEL: 054-263-5857 FAX: 054-263-5742

※共催 静岡県立美術館友の会

※上記受付期間内にお申込みが定員に満たなかった場合は、以後、先着順にて受付いたします。



WEB申込みはこちら

お申込み用紙

実技講座

イメージからピクチャーへ カメラづくりから考える

8/24(土)・25(日)

※2日間講座です。

フリガナ

TEL

お名前

中・高・大 年生・一般・70歳以上

メールアドレス

@

連絡のつきやすい時間帯

時頃